

持続的な企業価値向上に向けた取り組み

地球環境への配慮

地球環境問題は、人類共通の課題であるとの認識のもと、当社では具体的な目標を掲げ、地球環境負荷の低減に努めています。

エネルギー使用量および環境負荷低減への取り組み

全社を挙げて使用エネルギーを削減

当社は、全国に数多くの事業所(施設)と業務用車両を保有していることから、2010年3月期より環境中長期計画を策定し、電力使用量および車両運行に関する燃料使用量の削減に、全社を挙げて取り組んでいます。また、お客様の利便性を最優先に考え、全国にある銀行のATM1台ごとの利用状況を分析し、最適な店舗巡回ルートの設定や効率的な現金の補充と回収を行っています。これにより不要不急な車両による訪問が抑制され、燃料使用量およびCO₂排出量の削減にも寄与しています。

2016年3月期も、社員それぞれに定着した節電意識に加え、機械警備業務における施設待機への変更、低燃費車、バイクなどの積極的導入、さらには営業員の折衝先訪問ルートの効率化や技術員の夜間配置人数の削減による車両走行距離の短縮に取り組みました。その結果、事業所などの増加や記録的な猛暑にもかかわらず、電力使用量は、目標設定時の2010年3月期比で、10.4%減の大幅な削減を達成しました。

また、車両運行の燃料使用量は、事業拡大に伴い警備輸送業務の活動範囲が広がり、走行距離が伸びたにもかかわらず、ハイブリッド車やバイク、電動アシスト自転車等の導入推進により、前期比1.3%減の8,911キロリットルとなり、こちらも削減することができました。今後も全車両環境対応車化への取り組みを継続することで、さらなる削減に努めていきます。なお、当社は環境マネジメントシステムの実効性をより高め、持続可能な社会の実現を目指すべく、2016年に「環境方針」を制定し、ISO14001の認証を取得(一部)しました。

CO₂排出量の削減率(単体)
(2010年3月期比)

8.5%

警備車両などの省エネルギー化と3Rへの取り組み

低燃費・低公害車両の積極的な導入

ALSOKグループでは、業務上数多くの車両を利用していますが、全車両環境対応車化を目標に、ハイブリッド車や電気自動車、バイクや電動アシスト自転車などの省エネ車両の導入を積極的に進めています。また、燃料使用量の削減への取り組みとして、「アイドリングストップ活動」「エコドライブの推進」も積極的に行っています。

2016年3月末現在、保有する車両はほぼ100%国土交通省が認定する低排出ガス車に該当していますが、そのうちハイブリッド車両は410台、また、機動力確保と燃費削減のためにバイク734台、電動バイク3台、電動アシスト自転車168台、自転車471台を導入しています。そのほか、LPガス*



導入した電気自動車(静岡支社)

自動車・バイクや燃料電池車を一部の支社で導入するなど、一層の環境負荷低減に取り組んでいます。また、当社では、全社的に3Rに取り組み、ごみの分別やインクカートリッジ回収への協力だけでなく、機器類のリユース・リサイクルにも取り組んでいます。新横浜のリペアセンターでは、首都圏にある支社の撤去品回収、分別、リユース品整備・配送、廃棄・リサイクル処分等を担っており、2016年3月期の支社平均リサイクル率は約31%となりました。また、各種電源装置に搭載しているニッカドバッテリー(二次電池)を再生し、地球環境保護に貢献しています。

* LPガスは、同一排気量、同一燃料供給方式のガソリンエンジンと比較して約12~15%、ディーゼルエンジンと比較しても約6%CO₂排出量が少ない、化石燃料のなかで最もクリーンなエネルギーといわれています。

ニッカドバッテリー(二次電池)再生個数
(2016年3月期)

約22,000個